

# ハンドボール高校選抜

【男子】  
▽位トナメント決勝  
興 南 35 | 17 | 13 0 大分雄城  
▽全大会出場権決定戦  
小林秀峰 33 | 20 | 13 6 コザ  
(電話) 33 | 20 | 13 6 コザ

【女子】  
▽位トナメント決勝  
陽 明 25 | 14 | 11 9 大分鶴崎  
▽全大会出場権決定戦  
長崎日大 22 | 13 | 10 18 国分  
那覇西 27 | 15 | 12 22 熊本国府

# 興南 2年連続



男子決勝 興南と大分雄城台 相手アディフェンスの上からロングシュートを打ち込む興南・比嘉成希(5日、東風平運動公園体育館(山城博明撮影))

# 陽明 7年ぶり

# 九州V



陽明と大分鶴崎 スピードあるプレーで守備を抜き取り、シュートを決める陽明の山内卓(山城博明撮影)

# 南 攻めて勢い 興 全国へ闘志

男子決勝、興南は試合開始直後から比嘉成希が得意のスプリドと高さのある左45度ロングシュートをきく裂き、チーム全体が勢いづいた。

「今日こそは攻めていこうと思った」と話す比嘉成希は、速攻で躊躇(ちゆうちゆう)しては連決勝とは打って変わって、思い切り右サイドからゴール真正面へ飛び込み、シュートを決めた。

GK嘉陽俊太の守りも光った。相手の攻撃を冷静に「練習でやっていることができて」と黒島宣昭監督は決勝の内容を一定評価した。しかし「まだコート全体を見渡せる司令塔がない。ゲームメイクのできる選手を育てないといけない」と全国の舞台に向けて課題を口にした。

興南監督は「ベンチも一体になって雰囲気良く試合に臨めた。一試合一試合を大切に戦ってチーム全体で全国制覇を勝ち取りたい」と闘志を燃やした。(仲本文子)

# スゴサ

# 陽明 大舞台へ誓う躍進

那覇西、粘り強さで全国(スタートルイン)の切符を懸けた。最終戦、女子那覇西は序盤から熊本国府を相手に苦戦を強いられた。

相手大型センターに阻まれ、なかなかシュートチャンスを得られなかった。12分、ようやくシュートを許した。後半に持ち込まれたが、そこから那覇西は粘り強さを発揮した。

右足のけがを抱えたまま出場したセンター末吉有里沙。自分が流れを変える役だと思ったところ、相手ディフェンスにぶつかりながら、気迫のシュートを決めると、ポストプレーもうまく機能し始め逆転し、流れは一気に那覇西へ。末吉がマークされても、由良日香里主将らの冷静なボールさばりで点を広げた。

「前半の守備がよく我慢すると下地監督は安堵(あんど)した。ようやく全国へ行けるんじゃないか」と、山内卓は、

# 粘りの守備、幅広い攻め

決勝の相手は昨年の九州大会で大敗した大分鶴崎。ほぼ同じメンバーで挑んだ陽明は、粘りの守備に加え、幅広い攻撃で「らしさ」を存分に出し、8点差で快勝を収めた。

序盤こそパスキャッチやシュートのミスが続いたが、守備で粘って我慢を重ねた。後半には3-3の高めの守備に切り替え、慌てた相手からミスをつとに成功。ボールを奪うと、すぐさま山内卓、山城藍梨両サイドのスピードある攻撃へとつなげ、サイドのマークが厳しくなれば、ポストへパスを通した。2人のGKの好セーブもあり、相手はコースに抑えられ、練習を重ねたバックパスやシュートを打つと見せかけボールを回すなど裏をか



女子全国大会出場権獲得決定戦 那覇西-熊本国府 センターからシュートを放つ那覇西・末吉有里沙



「前回の守備がよく我慢すると下地監督は安堵(あんど)した。ようやく全国へ行けるんじゃないか」と、山内卓は、

「リドされても勝ちたいたいという気持ちで奮起した」と神里。しかし「一勝負どころのシュートも外してしまい流れを取り返せなかった」と悔し涙を抑えられなかった。仲本淳監督は「今までとは違い最後までモチベーションを下げずに戦えた」と、敗戦の中にも選手らの成長に手応えを感じていた。

「リドされても勝ちたいたいという気持ちで奮起した」と神里。しかし「一勝負どころのシュートも外してしまい流れを取り返せなかった」と悔し涙を抑えられなかった。仲本淳監督は「今までとは違い最後までモチベーションを下げずに戦えた」と、敗戦の中にも選手らの成長に手応えを感じていた。

(新垣梨沙)